



高教組青年部

「冬のつどい」に参加して

久島 雅樹

93年2月20日・21日の両日に亘り高教組青年部（高等学校教職員組合青年部）の「冬のつどい」があり、労働センターからは、販売と言う事で参加しました。販売の時に講演会があっていましたが、会場には入らず、通路で販売の用意をしたりして、待機していました。講演会が終り会場から先生方が出てこれ、センターの品物を買ってもらいましたが、なかなか売行は思わしくありませんでした。

その夜は交流会があり、久しぶりに再会した先生達と色々な話しをしながら楽しいお酒を飲みまして夜遅くまで話し込んでいました。

21日は3分科会に分かれて、話し合いがありました。私は、『性教育分科会』に参加しました。この分科会では、主にAIDSの事でした。一言に「エイズ」と言ってしまうとそれまでですが、内容を聞いているとどうも我々障害者問題と共通点があるように思えてきました。それは、エイズ感染者に対する差別と偏見です。今、急速に又確実にエイズ感染者は増えてきているようですが、「エイズ」と言う事で私も含めて一般の人達とはかく変な目で見ているようです。我々は、『差別をしてはいけない』『差別を許さない』そういう事を日頃言っていますが、この分科会の内容を聞いていて私はどうもエイズに対して偏見な目で遠くから見ていたように思いました。「エイズ」という病気の恐ろしさをハッキリとは分かっていない私です。今後はもっと勉強していきたいと思いました。

分科会でSEXをする時にコンドームを使った方がいいとか、使わない方がいいとか、色々な話しが飛び出てきました。

エイズ問題と障害者問題の共通点は、『差別・偏見・無知』だと思います。この3点がなくなれば、永久に解決はしないでしょう。

終わりですヨ。

共同連定例会議

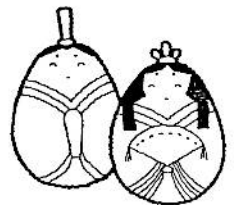
「障害者と健常者が共に生きることを語る会」熊本での出会いがきっかけで熊本障害者労働センターで運転を手伝っているのですが、障害者だけが通っているようなところに問題があるなあと思っているこの頃です。

我が子も、未熟児の後遺症でハンディがありますが、これはこどもの個性や属性だと思えるようになってきました。ハンディがあるだけで保育園や学校に入るとき、みんなと平等ではないのです。今の受験体制や能率主義の社会ではついていけませんし、普通の子供にちかづけようと努力すると犠牲が大きすぎるのです。勉強や出来ることが少し遅れているのですが同じ人間と思われないところがあります。就職や結婚となるとまた大変なのです。牛乳パックを回収に学校等に行くときとまるで宇宙人でも見るような目でセンターの仲間を見ている子に出くわすときもありますし、素直にどうしたのと聞いてくる子もいます。障害のある人を知らない子が多いので、めずらしいのでしょう。センターの仲間は、養護学等で生活し、卒業して就職がなかったので施設にいたり、在宅だった人がほとんどです。「共にみんなと生活したい」のですが、なかなか健常者の仲間がふえないのです。

先日、作業所の団体で作っている、共同連の例会に参加しました。よその作業所も大変だということが、会議にでてみてはっきりしました。しかし、よその仲間は元気もいいしパワーがありました。いろいろ勉強していて、雇用問題や行政への働き掛けなどものすごく行動力があることに圧倒されました。障害者が養護学校を卒業しても職場が雇ってないというが、行政は雇用率を達成しているのか？こういう問題に大阪あたりは、行動をしていて、みんなで連帯してやることがわかりました。とくに労働センターは指導員も若いし、ボランティアも少なしケースワーカーもいなくて困っているのですが、こういう会議で賢くなって元気がでてくるのですね。5月には熊本で共同連のリレートークをすることに決定されましたのでいまから楽しみです。



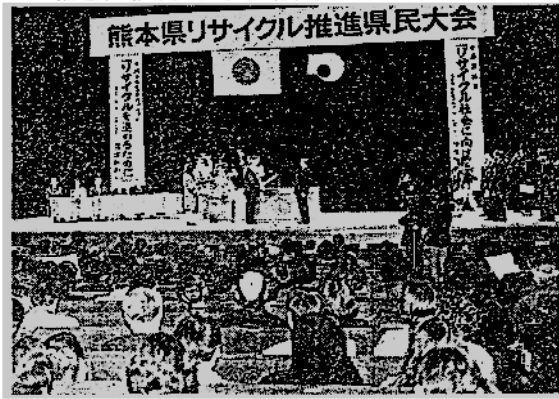
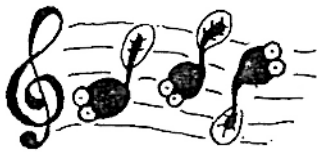
大久保千歳



平成5年(1993年)2月26日

金曜日

パネルディスカッションなどがあった県リサイクル
推進県民大会—熊本市民会館



推進県民大会に1400人

実践発表や表彰式

県民、企業、行政が一体となって廃棄物の減量化、再資源化の在り方を論議する「県リサイクル推進県民大会」が二十五日、熊本市民会館であった。県リサイクル推進県民大会(会長・福岡知事)の主催。リサイクル活動に取り組んでいる市民団体のメンバーや、行政、企業の関係者ら約千四百人が出席。パネルディスカッションでは、行政、消費者、企業、再生资源回収業者の代表がそれぞれの立場から発言した。十一年前から不燃ゴミの分別収集に取り組んでいる荒尾市の森幹男環境保全課長は、「三百三十二のリサ

官民あげてリサイクル

イクルステーションを設置し分別を徹底させることで、埋め立て処分量は美質五割削減できた」と報告。県内十八店舗でトレーを回収している寿屋の宮川恵幸消費者課長は、「回収されるトレーの量は、販売量の二倍にも上る。今後は保管場所の確保が大きな課題」と述べた。

また西原商店の西原利夫会長は、回収業者の立場から「古紙の価格暴落は社会的問題になりつつある。新会連絡協議会、南阿耷老人会や折り込みチラシの古紙回収率を高めたり、電話帳の改訂時期を見直すなど、企業側も資源の再利用を進めてほしい」と訴えた。

このほか、地域で長年リサイクル活動に取り組んでいる団体・個人を対象としてリサイクル推進賞の表彰、伊藤和明文教大教授の基調講演もあった。推進賞受賞者は次の通り。

【団体】熊本地域婦人連帯環境美化推進員

【個人】時松初枝(小国町住民課長)、山下勲(本

今回、熊本県リサイクル推進県民大会において労働センターが表彰を受けました。リサイクル推進県民大会では県内のリサイクル活動に活躍している団体や個人を表彰して講演会がありました。労働センターも表彰を受けて、活動が認められてより、活動しやすくなったことは嬉しいことです。これも牛乳パックを集めていただいている皆さんのおかげだと思います。しかし、新聞記事にもあったように「官民あげてリサイクル」と書いてありましたが、リサイクル運動は市民側が先にはじめて、後から行政が着いて来たのに、それに牛乳パック回収に関しては市民側は実績を作ってきたのに行政の対応は遅れていると思います。逆にパック回収活動が認められたと言うより認めさせたと言ってもいいと思います。だから、これからは行政も実際動いてもらい一緒にリサイクル運動をして行ける様にしてほしいと思います。

2月のパック回収記録

2月1日	ふくし生協	1.7 kg
2日	山ノ内小学校	9.5 kg
	松橋養護学校	97.9 kg
	西原小学校	3.9 kg
5日	託麻西小学校	28.6 kg
	城西小学校	15.3 kg
	画図小学校	155.7 kg
8日	熊大学生寮	8.7 kg
9日	池田小学校	76.2 kg
10日	個人(今村)	2.4 kg
	西南ロータリークラブ	6.5 kg
	ふくし生協	1.2 kg
12日	南小国婦人会	57.2 kg
	産交バス	0.7 kg
	城山小学校	52.2 kg
	尾の上小学校	76.2 kg
16日	ソロプチミスト熊本	45.8 kg
17日	帯山小学校	3.8 kg
19日	産交バス	0.7 kg
	長嶺小学校	51.6 kg
	甲佐小学校	78.9 kg
	甲佐幼稚園	27.9 kg
	出水小学校	27.7 kg
	託麻西小学校	30.2 kg
23日	個人(井上石華園)	1.2 kg
25日	個人	1.7 kg
26日	西南ロータリークラブ	5.3 kg
	泗水小学校	29.7 kg
	南ヶ丘小学校	24.2 kg
	合志小学校	26.8 kg
	泗水東小学校	48.6 kg
	向山小学校	76.4 kg
	松橋養護学校	33.7 kg
	託麻西小学校	10.5 kg
27日	後藤様(全日空)	19.3 kg
	月出小学校	81.8 kg

2月の日報から

2月2日	パック回収(画図、山ノ内小学校 松橋養護学校)
	ダンボール回収(北支部)
	通信作成(久島)
5日	パック回収(託麻西、画図小学校)
9日	パック回収(池田小学校)
	タンボール回収(西支部)
10日	くまもと生協パック持ち込み
	ワープロ打ち(緒方、久島、吉村、倉田)
12日	積み出し
	パック回収(城山、尾ノ上小学校)
	積み出し
17日	くまもと生協パック持ち込み
	商品在庫調べ(市瀬、入江)
	いきいきフェスタ (6:30~秋津レクタウン)
18日	積み出し
19日	パック回収(甲佐小学校、甲佐幼稚園) 託麻西、長嶺小学校)
	長嶺小学校販売(大久保、入江)
20日	高教組販売(3:00~5:30) 三井ガーデンホテル
	共同連参加 (6:00~福祉センター)
22日	交流会
23日	事務局会議 (1:30~2:30)
25日	積み出し
	熊本県リサイクル推進大会 (倉田)
27日	菊池方面配達(パック回収)
	パック回収(託麻西、向山小学校 松橋養護学校)



〒862
 熊本県熊本市保田窪本町5-29
 くまもと障害者労働センター
 TEL・FAX共通
 096-382-0861

編集長 久島 雅樹